

中央大学学員会 中大技術士会支部

ニュースレター vol.62

会員の皆様へ いかがお過ごしでしょうか？

この夏、パリオリンピック・パラリンピックで世界中のアスリートによる“熱い”日々が繰り広げられ、多くの感動がありました。一方で、気象のほうでも猛烈に“暑い”日々がありました。9月半ばを過ぎても暑さは続いておりませんが、ようやく秋の気配も感じられるようになりました。「夏は、暑いのが当たり前」と言われても、やはり“異常気象”と言われるほどの猛烈な暑さは、人体のみならず、様々な形で影響が出ています。8月にあった台風10号による暴風・長雨や短時間記録的大雨は、インフラや農作物に与える影響も大きいものでした。中国やベトナムでは、次の台風11号がスーパー台風となり、甚大な被害をもたらしています。台風シーズンは、まだ続きます。油断できません。8月9日には南海トラフ地震臨時情報も初めて発表されています。風水害・大地震と自然災害への備えも一層重要となっています。

私たちは技術士として、これら課題に対してどのように貢献できるのかを考え、行動することが求められています。災害対策やインフラ整備、環境保護など、多岐にわたる分野で各々専門知識を活かし、社会に貢献してゆきましょう。

中大技術士会が、技術士の皆さんのコミュニティーの場として、一役を担えれば幸いです。本会では会員の皆様からの投稿をお待ちしております。中大技術士会のホームページ (<http://www.chuo-u-pej.org/>) から投稿用のフォームをダウンロードしていただき、投稿してください。

内 容	ページ
巻頭言	2 ページ
■ 「中大技術士会の創立20周年記念の定時総会を終えて、今、思う事」 中大技術士会 幹事長 國島 旭（機械部門／総合技術監理部門）	2 ページ
活動報告	3 ページ
■ 中大技術士会 第20回定時総会	3 ページ
■ 幹事会報告	4 ページ
■ 各部会報告	6 ページ
活動計画	6 ページ
■ 各部会の活動計画	6 ページ
リレーエッセイ	7 ページ
■ 「バイオクリーンルームの知見を生かし地方発 GX へ」： 小出 浩平さん（衛生工学部門）	7 ページ
受験体験記	8 ページ
■ 技術士第一次試験合格体験記： 片桐 拓重さん（理工学部人間総合理工学科）	8 ページ
マネジメント基礎シリーズ第3回	8 ページ
■ 「マーケティングの基礎」（4P と STP で顧客の獲得・維持を確保しよう!）： 山下 三雄さん（建設・総合技術監理部門）	8 ページ

■ 「中大技術士会の創立20周年記念の定時総会を終えて、今、思う事」:

中大技術士会 幹事長 國島 旭（機械部門／総合技術監理部門）

2024年6月22日(土)に中大技術士会の創立20周年記念の定時総会を滞りなく無事に開催できました。関係各位様の御協力に感謝すると共に中大技術士会の歴史を継承できました事に安堵しております。

2014年からの中大技術士会の大きな足跡としては、全国大学別の在校生の技術士第一次試験の合格者数で中央大学は2014～2016年の三年連続で全国第一位を獲得できました。

当時、他大学の技術士会、所謂、大技連（大学技術士会連絡協議会の略称）の関係者から「中央大学では何をやって全国第一位になっているのか?!」と不思議に思われ、その後、切磋琢磨して現在に至っております。現在、大技連の全国の加盟校は36校です。

残念ながら、昨年2023年の中央大学の在校生の技術士第一次試験の合格者数は全国三位に留まっています。以前は、中大技術士会が中央大学の理工学部へ向けた、1) 技術士資格の啓蒙活動、2) 模擬試験の開催などが功を奏して、学生自らが行動を起こして、技術士第一次試験の合格を目指して勉強したことにより栄冠を獲得できたものと考えています。中大技術士会から学生への訴えや活動が何らかの一助になったのであれば幸甚である。

現在に至るまで、中大技術士会は同様な活動を継続しておりますが、他大学も中大技術士会に追いつけ、追い越せで在学中の技術士第一次試験の合格者数の増大を図っており、以前の様な中央大学、中大技術士会の優位性の確保は厳しくなっている状況であります。

「行動無くして、変化や変革は起きない」は世の常であり、これは、中央大学の建学の精神である「實地應用ノ素ヲ養フ」～ジッチオウヨウノ ソラ ヤシナウ～ から、現在の「行動する知性。－Knowledge into Action－」を育むという本学のユニバーシティメッセージへと継承されている事からも言えます。また、技術競争の分野などでは「現状維持は後退である」とも言われるが、昨今、IoT, loA, loC, GAFAM, CASEなどの英単語の略語が多くなり曖昧模稜の感も強い。

Chat GPT など AI 技術の普及で、人間の英知が不必要になるのでは？ そして人間そのものが不必要になるのでは？ と心配している方もいらっしゃるだろうが、敢えて言っておきたい。

「人工知能などの AI 技術は、ビッグデータから人間の行動パターンなどを「認知:Recognition」できても、決して「理解:Understanding」している訳ではない」と注意喚起を込めて付言します。コンピューターが絶対に超えられない人間の英知の壁は存在する筈であろう。

人間、そして、技術士ならば、自らが判断して行動を起こして、科学技術の向上と国民経済の発展などに寄与する事を目指し、同時に、公序良俗の維持、社会正義の確保などの倫理も醸成し遵守すべきことは言うまでも無いだろう。

世界、日本社会、そして、日本の大学も大きな変革や再編が必要な時期になってきた様である。

「中央大学の理工系学部が3学部」 2026年4月、後楽園キャンパスに基幹理工学部、社会理工学部、先進理工学部（すべて仮称）を開設（※） ※設置構想中であり、内容は変更となることがあります。と発表がありました。

中大技術士会として、次の10年に向けて時間余裕は充分にあるが、月日の経過は「光陰矢の如し」であり、今こそ、次に何を為すべきか明確な計画や目標設定などを行う時期であろう。

以上



活動報告

■ 中大技術士会 第20回定時総会

行事名	開催日程	活動概要
2024年度 第20回 定時総会 (対面+Web 会議)	2024年 6月22日(土) 14:30~15:30	<ol style="list-style-type: none"> 開会挨拶 中大技術士会 坂林会長から総会の開会挨拶 議事録署名人指名 坂林会長より萩野太郎氏、加藤行勝氏の提案があり賛成者多数で議事録署名人に指名された。 議長選出 参加者から司会者が引き続き議長を務めるよう提案があり、賛成者多数で國島旭氏が議長に選出された 審議内容 (1)第1号議案：2023度活動報告(案)：資料1 (2)第2号議案：2024度活動計画(案)：資料2 (3)第3号議案：2023度収支決算(案)：資料3 (4)第4号議案：2024度収支予算(案)：資料4 →上記の第1号議案から第4号議案の全ては、賛成者多数により議案通りに議決された。 閉会挨拶 中大技術士会 武安副会長より総会の閉会挨拶



写真 第20回定時総会一連の様子

詳細は、[中大技術士会ホームページの履歴](#)をご覧ください。

■ 幹事会報告

行事名	開催日程	活動概要
2023 年度 第5回幹事会 （対面+WEB 会 議） *幹事会終了後に 懇親会開催	2024 年 1 月 26 日（金） 18:00～19:15	<p>【 各部会報告 】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 総務部会報告 <p>①第 19 回定時総会の人事案の連絡と承認</p> <p>②2024/3/16(土)の技術士第一次試験合格者への理工学部長からの表彰式の準備</p> <p>③中大技術士会の創立 20 周年の記念誌のニュースレターの準備</p> <p>④2024/6/22(土)の中大技術士会の創立 20 周年記念の定時総会+祝賀会対応</p> <ul style="list-style-type: none"> • 企画部会報告：上記を参照。 • 広報部会報告 <p>①20 周年記念誌の対応は上記を参照。</p> <p>②ニュースレターVol.63 の編集担当は山下幹事から篠崎幹事に修正します。</p> <p>③2025/4 月竣工予定の新 1 号館などの情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> • 大学支援部会報告：特に無し • 大技連（大学技術士会連絡協議会）対応 <p>①大技連の 2024 年度の年次総会の中央大学での開催は、大議連の幹事会で正式決定された後に対応協議</p> <p>【 その他 】</p> <p>①中大技術士会の余剰金／繰越金の有効利用について</p>
2024 年度 第 1 回幹事会 （WEB 会議）	2024 年 4 月 26 日（金） 18:30～20:00	<p>【 各部会報告 】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 総務部会報告 <p>①技術士第 1 次試験合格者の表彰式、歓迎会の総括</p> <p>②JABEE への訪問報告</p> <p>③大技連の 2024/4/6(土)年次総会への出席報告</p> <p>④2024/4/20(土)のテクノロジー懇談会の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> • 企画部会報告 <p>①第 20 回定時総会の情報展開：2024/6/22(土) 14:00～開催予定。会場の予約、特別講演 講師手配については梅田理工学部長に依頼済み。懇親会については中大生協に依頼済み。</p> <p>②記念品の手配は、國島幹事長、武安副会長で準備</p> <ul style="list-style-type: none"> • 広報部会報告 <p>①記念誌「中大技術士会 20 年の歩み」の素案紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> • 大学支援部会報告 <p>①技術士ガイダンスの日程一覧を展開。</p>

		<p>②講義の非常勤講師を大畠幹事、小柳幹事に協力依頼</p> <p>【 その他 】</p> <p>①御逝去された伊藤幹事に代わるニュースレター担当者の募集。</p>
<p>2024 年度 第2回幹事会 (WEB 会議)</p> <p>+</p> <p>2024 年度 第3回幹事会 (WEB 会議)</p>	<p>2024 年 6 月 8 日 (金) 18:30~19:30</p> <p>+</p> <p>2024 年 6 月 14 日 (金) 18:30~20:00</p>	<p>【 各部会報告 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総務部会報告 <p>①5/24(金)の中央大学法曹会の幹事会終了後の講演会と懇親会への参加の紹介</p> <p>②6/10~19 の技術士第一次試験の受験願書配布の件</p> <p>③中大技術士会創立 20 周年の記念誌の準備</p> <p>④6/22(土)中大技術士会の創立 20 周年記念の定時総会の準備 (5 号館 1F 5135 教室)</p> <p>⑤6/22(土)総会終了後の懇親会の準備(3 号館 1F 食堂)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画部会報告：上記を参照 ・広報部会報告：上記を参照 <p>【 その他 】</p> <p>①中央大学学会の夏季発行の学員時報への投稿</p> <p>②3/25 に御逝去された伊藤幹事の 49 日法要が無事に終了した旨の挨拶文と返礼品(海苔)の紹介</p>
<p>2024 年度 第4回幹事会 (対面+WEB 会議)</p> <p>*幹事会終了後に 懇親会開催</p>	<p>2024 年 8 月 2 日 (金) 18:30~19:45</p>	<p>【 各部会報告 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総務部会報告 <p>①中大技術士会の創立 20 周年の記念総会の振り返り 概ね、滞りなく無事に開催できたが、指摘事項として、Web からの会員参加が少ない、電気電子機器の通信トラブルなどの準備不足などが挙げられた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画部会報告 <p>①10/26(土)の中央大学ホームカミングデーについて</p> <p>②11/2(土)~3(日)の理工白門祭について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報部会報告 <p>①ニュースレターVol.62 の準備、原稿集結: 8/末</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学支援部会報告 <p>①10/19(土)の模擬試験の開催準備 115 名の学生が模擬試験に参加予定</p> <p>- グリーンインフラ研究会</p> <p>①次回のグリーンインフラ研究会の開催に向けて石川先生に確認&連絡する。</p>

■ 部会報告

○広報部会

項目	内容
サーバー運営	メーリングリストおよび Web 名簿の更新
ニュースレターの発行	① ニュースレターvol.62 作成、発行
HP新規掲載	① ニュースレターvol.62 の掲載 ② ニュースレターVol.61（創立 20 周年記念誌）の掲載 ③ 第 20 回定時総会・特別講演会の様子を活動履歴に掲載
その他	①第 10 期幹事構成更新 ②会員構成更新
会員の皆様へのお願い	① 就職、転勤、転職、転居等により連絡先が変更になった場合、幹事会宛てにご一報をお願いします。詳細はホームページ「入会のご案内」をご参照ください。連絡先：toiawase@chuo-u-pej.org ② ニュースレターへの会員の皆様らの投稿をお待ちしています。近況報告、受験体験談、趣味何でも構いませんので、積極的な応募をお待ちします。 ③ 会員相互の交流を深めることを目的に比較的気楽に投稿できる「 <u>趣味</u> 」を共通テーマとしたリレーエッセイを募集しております。執筆依頼がありましたら、躊躇せずに投稿をお願いします。リレーエッセイの執筆をご希望の方は toiawase@chuo-u-pej.org まで、お知らせください。意外な繋がりが生まれるかも知れません。

○企画部会活動報告

項目	内容
中大技術士会 R6 第 1 回講演会 (定時総会時の特別講演会として開催)	日時：2024 年 6 月 22 日（土）15:15～16:45 会場：後樂園キャンパス 5 号館 1 階 5135 教室 講師：中央大学 工学部長 梅田 和昇 教授 講演：「中央大学工学部の今：研究，組織，施設など」

活動計画

○企画部会活動計画

行事	日程	内容
ホームカミングデー	10 月 27 日（日） 多摩キャンパス	「生活・技術 無料相談会」として出店する予定
理工白門祭	11 月 2 日（土）～3 日（日） 後樂園キャンパス	「無料相談会」として出展する予定

リレーエッセイ

今回のリレーエッセイは、白門たくみ会の事務局として活動されている小出浩平さんです。

■ 「バイオクリーンルームの知見を生かし地方発GXへ」：小出浩平さん（衛生工学部門）

1989年に精密工学を修了し、戸田建設に入社しました。建物の機械設備の設計・施工管理を担当しておりましたが、ご縁があり1995年から製薬会社のバイオクリーンルームの設計・運営支援に携わるようになりました。通常の建物は設計・施工し引き渡して完了ですが、製薬会社は医薬品の安全性を保証するために“バリデーション”を実施することが求められます。当時、あまり前例がなく、試行錯誤で学んでいるうちに、バイオクリーンルームのスペシャリストになりました。1998年衛生工学部門（高潔浄空調）の技術士試験にチャレンジし、試行錯誤したプロセスが生かされ合格することができました。



その後、2001年まで、戸田建設にてバイオクリーンルームの設計・運用のアドバイザーとして携わっておりました。技術士として活動する中で、医薬品品質保証は“経営力向上”と両輪であることを知り、2001年早稲田大学ビジネススクールで経営を学びました。ご縁があり2006～2009年ミスミグループで経営を学ばせて頂き、2009～2022年ワタミにて環境事業の会社を経営させて頂くことができました。

現在、個人で技術士事務所を開き、戸田建設とワタミの顧問をしながら、地方（岩手県陸前高田市、大分県臼杵市）にて気候危機問題を解決するGX（Green Transformation）を実施する会社を立上げ、試行錯誤を繰り返しています。このように働くことができるのも、技術士との出会い、技術士の視点を得ることができたことによると、思っています。

現在、陸前高田では、図に示すような大きなビジョンを掲げ、取り組んでおります。

次号のリレーエッセイは、ITの柏崎社長にお願いします。



受検体験記

技術士第一次試験に合格された理工学部人間総合理工学科の片桐さんの合格体験記をご紹介します。

■ 技術士第一次試験合格体験記： 片桐 拓重さん（理工学部人間総合理工学科）

所属する研究室の担当教授に、都市計画やまちづくりの分野で将来働いていくためには、技術士の資格を持っていたほうが良いと勧められ、大学3年時に技術士第一次試験環境部門の受験を決めました。半年後には就職活動が始まることもあり、なにか資格を得たいと思いました。



私は大学3学年のときに受験したので、講義や課題と試験勉強を両立させることが大変でした。そのため、試験勉強は試験の2週間前から短期集中で行いました。専門科目はテキストと過去問を活用することで、効率よく、必要な範囲を絞って勉強することができました。基礎科目は、高校の数学や物理の計算問題に似ているものもあったので、私には比較的解きやすい問題でした。適性科目は、常識的な問題や倫理観を問われる問題が多く、コツをつかむまで少し時間がかかりました。しかし、こちらも、短期的に集中して解いたことで、合格につながったと思います。

学科の友人と自習室にこもって集中して勉強したことも、ポイントであったと思います。友人と一緒に受験して、自分だけ不合格であったらとても悔しいと思い、一生懸命勉強しました。環境部門の第一次試験は暗記するものが多かったため、自分は短期集中で臨みました。技術士の第一次試験の合格率は全体では50%程度となっており、合格率が高い資格試験とは言えません。私は短期集中型で乗り越えることができましたが、暗記が苦手な人や、繰り返し問題を解くことによって自信をつけたい人は、早めにコツコツと勉強することをお勧めします。難しい問題ではないので対策さえしっかりすれば確実に合格することができます。

技術士第一次試験に合格した今、自分の力が認められたことがとても嬉しく、自信をもつことができました。これからは、技術士第一次試験合格を生かして、環境分野で活躍していきたいと思っています。

マネジメント基礎シリーズ（第3回）

■ 「マーケティングの基礎」（4PとSTPで顧客の獲得・維持を確保しよう!）:

山下 三雄さん（建設・総合技術監理部門）

マーケティングの基本概念である4Pとは、マーケティングの主な政策であるProduct（商品）、Price（価格）、Place（販売経路）、Promotion（販売促進）のこと。

またSTPとは標的市場の選定におけるSegmentation（市場の細分化）、Targeting（標的市場の選定）、Positioning（商品地位の明確化）のこと。

（資料はこちらQRコード、URLからご覧ください。）



URL：http://www.chuo-u-pej.org/katudou/newsletter/document/document_03.pdf

ニュースレターへのご意見、ご感想をお待ちしています。 ⇒ toiawase@chuo-u-pej.org
2024年9月号 中大技術士会 広報部会 発行